

逆浸透膜浄水器 RO-100、RO-100PP、RO-100EP

メンテナンスの方法

逆浸透膜浄水器のメンテナンスは簡単です。

通常、一年に一回のプレフィルターの交換と3～5年に一回の逆浸透膜とポストフィルターの交換が必要ですが、交換は自分で簡単にできます。

交換頻度：

プレフィルター（1ミクロン、カーボン、5ミクロン）

6～12ヶ月に一回の交換が必要です。水の汚れがひどい場合や使用量が多い場合は6ヶ月毎に交換してください。最低でも1年に一回の交換は必要です。

逆浸透膜

3～5年に一回。一年に一度水質計で浄水をチェックし、浄水効果が落ちていたら交換。

ポストカーボンフィルター

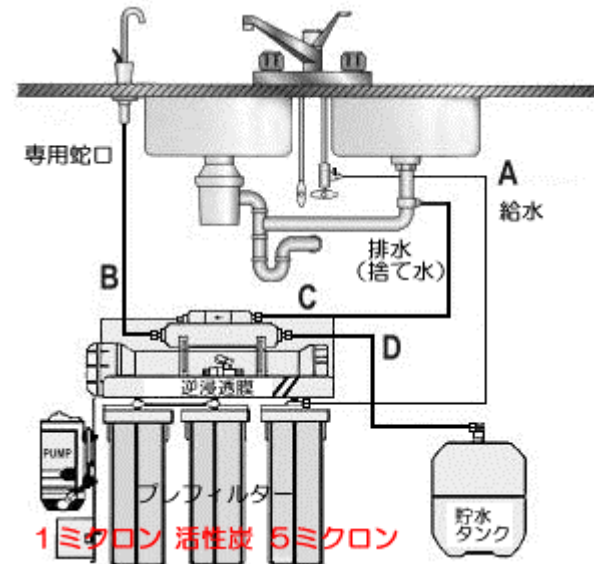
同上。逆浸透膜の交換時に同時に交換。

プレフィルターの交換：

準備するもの：



取り付けるフィルターの位置：

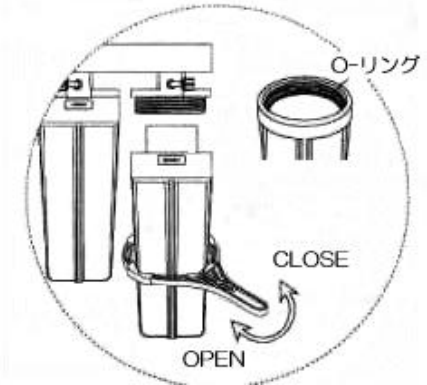


各フィルターの位置は左図のようになります。

本体は正面から見た図です。1ミクロンフィルターと5ミクロンフィルターは肉眼では区別が付かないのでパッケージから出したら混同しないようにして下さい。

交換手順：

1. 専用蛇口を開いてタンクの水をすべて出して下さい。給水の蛇口を閉じて、タンクバルブも閉じます。
2. 交換の際は水が多少漏れますので、本体の下に浅いトレイを置くかタオルを敷いておきます。
3. フィルターレンチを使ってフィルターのハウジングを外します。(外すにはレンチを時計と反対方向に回します。)
4. 古いフィルターは捨てて、ハウジングの中を水あるいはブラシなどできれいにします。フィルターハウジングの内側に付いているO-リングをなくさないように気をつけて下さい。
5. ハウジングの中に新しいフィルターを入れます。
6. ハウジングの溝にO-リングをはめます。(ちゃんとはまっていることを確認して下さい。)
7. フィルターレンチが手でハウジングを時計方向に回して元に戻します。(O-



リングの位置ずれを防ぐために、完全にねじ込むまで横に置かず立って状態にしておきます。)

8. この手順で他の2つのフィルターも交換していきます。
9. すべてのフィルターの交換が終了したら、ハウジングの緩みがないことを確認して給水とタンクのパルプを開きます。
10. 水の漏れがないことを確認してください。漏れがあったらハウジングをきつく締めるか、O-リングの位置ずれを直します。

*** フィルターを交換した直後は、必ず最初のタンクの水は捨ててください。***

逆浸透膜とポストフィルターの交換:

準備する工具:

自在レンチ (プラスチックねじの開け閉め用)

交換手順:

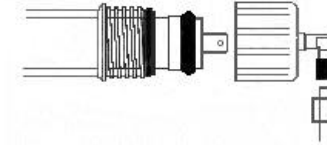
ポストカーボンフィルターの交換手順

1. 古いポストカーボンの両端のねじを外します。
2. 新しいポストカーボンを接続します。ポストカーボンフィルター容器に表示してある水の流れる方向を必ず古いフィルターと同じにしてフィルターを交換します。



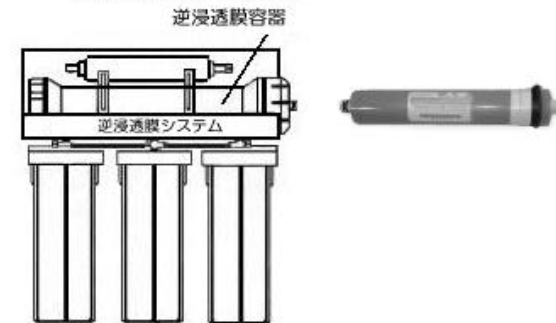
逆浸透膜の交換手順

1. フィルターの交換の手順 1,2 に同じ
2. クリップから交換膜容器を外します。
3. チューブを交換膜容器から外します。(クイックコネクトの場合、コレットを押ししてチューブを引くだけです。旧ねじ込み式の Jaco コネクターの場合はレ



ンチが必要です。)

4. 逆浸透膜容器のキャップを時計と反対方向に回して外します。
5. ペンチを使って容器から逆浸透膜を取り出して、古い逆浸透膜は捨てます。
6. 新しい逆浸透膜を容器に入れます。(黒いO-リング側から入れます。)



7. 逆浸透膜を完全に差し込みます。(最後は少し力が要ります。)
8. 逆浸透膜容器のキャップをねじ込んで取り付けます(時計方向に回す)
9. チューブを逆浸透膜容器キャップのコネクターに接続します。
10. 水道配管の給水コネクターとタンクのパルプを開きます。
11. 水の漏れがないか確認します。もし漏れがあった場合はキャップを締めなおします。
12. タンクが一杯になったら(通常ポンプ付で1時間、ポンプなしで3時間程度かかります) 最初のタンクの水は専用蛇口を開いて捨てます。

これで交換は終了です。

*** カーボンフィルターあるいは逆浸透膜を交換したら、最初の貯水タンクの水は使用しないで必ず捨ててください。***